

16 平和と公正を
すべての人に



ウクライナ危機

24 時間体制で展開するユニセフ支援

戦闘激化から 3 週間が経過するなか、ウクライナの子どもたちが置かれている状況は、ますます深刻になっています。

子どもたちは命を奪われ、傷つき、避難を強いられ、心にトラウマを負っています。

2 月 24 日以降、150 万人以上の子どもが国外への避難を余儀なくされています。平均すると、毎日 7 万 5,000 人以上、1 分あたりでは 55 人、1 秒あたりでは約 1 人のペースで、ウクライナの子どもたちが難民になっているのです。

危機が深まる中、ユニセフはウクライナ国内および近隣諸国の子どもたちと家族が必要とする支援を届けるために、24 時間体制で支援活動を続けています。



© UNICEF/UN0607443/English
ウクライナと国境を接するポーランドのメディカにたどり着いた家族。ボランティアからの支援で衣類、毛布、温かい食べ物や飲み物、衛生用品などの必要な物資が配布されている。(ポーランド、2022 年 3 月 11 日撮影)

ユニセフの支援活動から

ウクライナ国内における、ユニセフの支援活動(3 月 16 日時点)



© UNICEF/UN0604107/Boyko キエフ産婦人科センターで、ユニセフ支援物資の体重計を使って赤ちゃんの体重を計測する様子。(ウクライナ、2022 年 3 月 7 日撮影)

3 月 5 日に第一便として到着したユニセフ支援物資のうち、助産キット、産科キット、外科医療キット、救急バッグ、診断用および治療用の医療器具を、キエフ市内および周辺地域の一時保管施設に届けました。また同様の物資を、チェルニヒフ、キエフ、ハルキウ、ポルタヴァ、ドネツクの最も被害を受けている地域の 20 の病院・医療施設にも提供しており、約 2 万人の妊婦や子どもたちの救命医療を支えています。

今後数日間で、保健・医療用品（助産キット、手術キット、産科キット、酸素濃縮器、保冷ボックスなど）、毛布や冬服、衛生用品、幼児期の子どもの発達を支える学習キット、心のケアにつながるレクリエーションキットなどの 68 トンのユニセフ支援物資がバドゥに届く予定です。衛生用品キット（家庭用・妊産婦用・施設用）、赤ちゃん用おむつ、消毒剤、ペットボ

トルの飲料水などを、ウクライナ東部の保健施設などに提供しました。これらの物資は、紛争の影響を受けている家族に配布されます。

ウクライナ緊急募金にご協力をお願いします

オンラインで：スマホ・パソコンからお申込みいただけます。



←スマホで QR コードを読みこむと、募金サイトが表示されます

オンライン募金は、**千葉県ユニセフ協会 募金プロジェクト**

「SDG s 目標 16 平和と公正をすべての人に～ウクライナの子どもの命と尊厳を守るために！～第 2 弾～」となります。(日本ユニセフ協会が運営している「フレンドネーション」を利用しています)

※パソコンでは **千葉県ユニセフ協会ホームページ www.unicef-chiba.jp** からもお申込みできます

郵便振込で：振込手数料・硬貨取扱手数料がかからない専用の振込用紙をお送りします。

千葉県ユニセフ協会までご連絡ください。

※オンライン募金・振込での募金いずれも、所得税などの控除対象となります。

発行・お問い合わせ：千葉県ユニセフ協会

電話：043-226-03171 メール：info@unicef-chiba.jp ホームページ：www.unicef-chiba.jp

〒264-0029 千葉市若葉区桜木北 2-26-30 コープみらい千葉エリア桜木事務所本館